

一般社団法人 **全国高等学校PTA連合会** 会報 No.98

一般社団法人全国高等学校PTA連合会
 (連絡先) 〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町2-1 (奥田ビル) TEL03-5835-5711 FAX03-5835-5757
 発行人 山田 博章 URL <http://www.zenkoupren.org/> eメール info@zenkoupren.org

まず、この一年間を振り返って、最初に思い起こされる事は、国公立PTA四団体による文部科学大臣への「要望書」の提出であろう。

私たちと志を同じくし、共に活動をする「一般社団法人 全国国立大学附属学校PTA連合会」「公益社団法人 日本PTA全国協議会」「全国国公立幼稚園・子ども園PTA連絡協議会」そして私たち「一般社団法人 全国高等学校PTA連合会」の四団体が団結をして、総理大臣や文部科学大臣に「要望書」を提出しようということになり、前年度より約一年をかけた内容を吟味し、各団体内に於いても再度内容を確認して最終的な要望書を作成する。

そして五月三十一日、霞が関の衆議院議員会館に集合した私たち四団体は、総理大臣は多忙の為面談は叶わなかったものの、当時の松野官房長官にお会いし、総理大臣宛の要望書を提出、写真撮影、歓

談の後、文部科学省に移動。文部科学省では、永岡文部科学大臣とお会いし、写真撮影、そして机を囲んでの意見交換。現在の教育に関する問題点を大臣と協議をしながら、文部科学省として可能な限りのバックアップを確約していた。

六月に入ると、各地区大会の始まり。皮きりは北海道地区、今年度は小樽市で行われ、四年ぶりにリアルに全道から集まった事もあり、凄じ熱気に圧倒される。

翌週には岐阜県で行われた東海地区大会。金華山の小高い山上に岐阜城がそびえ、翌日天守閣に登ってみると、眼下に長良川や木曾川が拡がり、遠くは名古屋市内まで見渡すことが出来、壮大な眺望に、戦国時代の武将へと思いを馳せる。

そして、その翌週の定時総会にて会長に再任され、それからは怒涛の如く各地区大会の梯子。佐賀県にて行われた九州地

区大会、開会式が終わればそのまま、直行で滋賀県にて行われる近畿地区大会へ。滋賀県で開催の近畿大会へは単P時代から数えると三度目の参加となり、各々の時代の変遷を懐かしみながらも非常に感慨深いものがある。

その翌週には福島県にて行われた東北地区大会。これは午前中に開会式が行われ、終了後そのまま直行で栃木県宇都宮市にて行われた関東地区大会の午後からの開会式に参加。

またまたその翌週には、岡山県倉敷市にて行われた中国四国大会へ。これも午前中の開会式が終わるとその足で新潟県に移動。ただ今回の新潟市にて行われた北信越大会へは残念ながら開会式に間に合わなかった為、翌日の閉会式に出席しご挨拶をさせて頂く。

どの地区に於いても、大変歓迎をして頂き、あまりゆつくりとは出来なかつたものの、コロナ禍も収まりつつあった事も

あり、久し振りに行われた懇親会や懇談会は何処に行っても大盛況であり、今まで溜まりに溜まっていた鬱憤を晴らすかのような活気が見受けられた。

そして八月に入り、待ちに待った全国大会。宮城県での開催となり、初日の午前には希望者による教育視察が始まる。十三年前に発生した「東日本大震災」により大きな被害を受けた地区や東北大学等、様々な方面を視察することができ、改めて地震や津波の怖さを思い知らされる。

午後には分科会が開催され、多方面の講演やディスカッションがなされる。そして大会二日目の開会式・全体会後に行われた記念講演。令和四年夏の甲子園大会では優勝を果たし、初めて白川の関を超え東北地方に優勝旗を持ち帰った「仙台育英学園高等学校」硬式野球部の「須江 航」監督の講演という事で、観客席は



2023年度(令和五年度)を振り返って

一般社団法人全国高等学校PTA連合会会長 山田 博章

今号の主な内容

会長挨拶	1～2頁
令和5年度 全国高P連の活動報告	2～3頁
地区トピックス	3～12頁
北海道地区/東北地区/関東地区/東京地区/北信越地区/東海地区/近畿地区 中国四国地区/九州地区	
全国高P連 令和5年度 調査広報委員会アンケート実施結果	13頁
第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会(ご案内)	14～15頁
賠償責任補償制度のお知らせ	16頁

立ち見も出るくらいの大盛況。しかもこの夏の甲子園大会に於いては惜しくも準優勝にはなつたものの、二年連続決勝戦にまで勝ち進み、その決勝戦が二日前という超過密スケジュールであったが、この講演が図らずも一年前から決定されていたというところで、約束を果たして下さった須江監督に、講演前に挨拶をさせて頂いたと、大変フランクで優しい人柄が印象的であり、いざ講演が始まってからも全く変わらない雰囲気、講演内容も大変分かり易く、ドンドンと須江監督の魅力に引き

込まれた大変有意義なひと時となる。
 全国大会宮城大会も閉会式を迎え、来年度に行われる茨城大会へと大会旗の引継ぎを完了し無事に成功裏に終えることができ、偏に宮城県の大実行委員会の皆様方のご尽力の賜物と心より感謝を申し上げると共に、来年度に行われる茨城大会へも、より一層の多くの皆様方に参加をしていただけるようお願い申し上げます。
 そして、宮城大会終了後、翌日に「公益社団法人 日本PTA全国協議会」の全国大会が広島県

にて行われるという事で、その日のうちに広島に移動。この大会には五月に一緒に文部科学大臣と面会した、「全国国立大学附属学校PTA連合会」や「全国公立幼稚園・こども園PTA連絡協議会」の各会長方と共に来賓としてお招き頂き、色々情報交換をすることができた。
 また、秋に行われた「全国会長・事務局長連絡会」は、今まで計画をしながらもなかなか実現がされなかった大阪にて開催され、グループに分かれてPTAにまつわる課題やコロナ後に於ける活

動の工夫、問題点等を出し合い協議をして、お互いに色々な考えが有ることや、対応策のヒントを得ることができ、大変有意義な会議となり、今後継続してこのような会議の場を設けて欲しいという声が多く聞かれた。
 そして、年が変わり二月に入つて「全国会長・事務局長研修会」が東京大学伊藤謝恩ホールにて行われ、この会の冒頭で元日に発生した「能登半島大震災」にてお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表して黙禱をさせて頂いた。一昨年に全国大会石川大会が開催

されたばかりで、その終了後に少し足を伸ばして輪島から珠洲市へと訪れ、そのあたりの風景を見たことがあっただけに、映像で見る能登半島の甚大な被害には驚かされるばかりで、被災をされた皆様方には心からのお見舞いと一日も早い復興をお祈り申し上げる次第です。
 このように、あらためて振り返ってみると、全国を飛び回り、多忙を極めた一年であったが、私たちが行っているPTA活動は、未来ある子ども達の為に保護者や教員がどれだけ陰になり日向になり応援をできるか、と

いうことを実践するべく微力ながらも精進をさせて頂いている。そして何よりも全国各地に足を運んだからこそ、志を同じくする多くのPTA会員の方々と出会えた事は、私の何にも代えがたい宝物となっている。ICTやIoT等世の中は目まぐるしい速さで変化をしていくが、私たちPTAは今後とも子ども達を応援する必要不可欠な存在として、持続可能な活動をしていきたいと考えておりますので、次年度も変わらぬご支援・ご協力の程、宜しく申し上げます。

令和五年度 全国高P連の活動報告

令和5年度定時総会開催

令和5年6月24日(土) 令和5年度定時総会をTKPガーデンシティ PREMIUM 秋葉原にて開催いたしました。

本会会員の都道府県市高等学校PTA連合会出席の下、第1号議案ならびに第2号議案とも多数の賛同を得て可決されました。
 代表理事(会長)には

山田博章氏が再任いたしました。

第72回全国高等学校PTA連合会大会宮城大会開催

『豊かな杜につむぐ虹の光』くしなやかな強さで生き抜く力

8月24日(木)、25日(金)の二日間、晩夏の真つ青な空の下、仙台育英学園高等学校の甲子園準優勝の興奮冷めやらぬ杜の都仙台で第

72回全国高等学校PTA連合会大会2023宮城大会が開催されました。

仙台育英学園高等学校はじめ宮城県高等学校PTA連合会関係者の皆様銀メダルおめでとうございます！

時の人、銀メダルの功労者須江航監督に全体会の記念講演講師をお願いしました。
 監督の「人生は敗者復

活戦」という言葉は、難しい年ごろの子どもを持つ会場を埋め尽くした保護者皆様の子育ての緊張を和らげてくれました。

令和5年度全国会長・事務局長連絡会開催

令和5年9月30日(土)新大阪ブリックビルにて、令和5年度全国会長・事務局長連絡会が開催されました。

「PEP TALK!」やる気を引き出す言葉の力」と題して、日本ベッブトーク普及協会から堀寿次先生をお迎えしご講演をいただきました。

その後グループ協議に移り、PTAにまつわる課題やコロナ後のPTA活動の工夫等についてグループごとに意見交換・意見共有し、実りある話し合いの機会を持ちました。

令和5年度全国会長・事務局長研修会開催

令和6年2月3日(土)東

「高校生と保護者に知ってほしい薬物乱用に関する最近の話題」

全国高P連薬物乱用防止パンフレット作成にご尽力いただいております東京薬科大学の北垣邦彦先生にご講演いただき、身近になつてきた薬物乱用の話に熱心に耳を傾けました。

京大伊藤国際学術研究センターにおいて「令和5年度全国会長・事務局長研修会」が開催されました。

「これからの教育に求められること」

全国高等学校長協会元会長、現事務局長を務められている宮本久也先生には、生徒達を取り巻く状況の変化・日本の教育の課題・自立した人間等について講演いただきました。
なお、石川県高等学校PTA連合会山口事務局長より「QRコードを用いた受付システム」につ

いて、ご興味のある方は石川県事務局にお問い合わせください。

令和5年度調査広報委員会アンケート実施

令和5年度全国高等学校PTA連合会アンケートにご協力くださいました加盟校PTA会長様、副会長様ありがとうございます。
調査結果は、全国高P

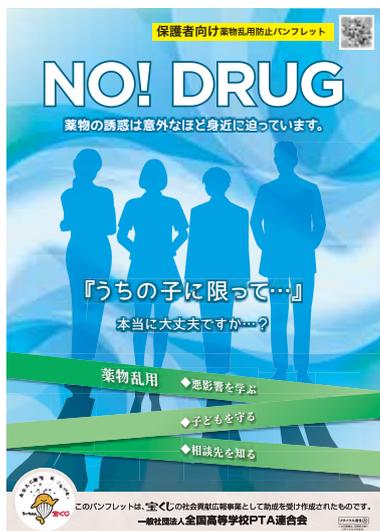
連としての要請行動や研修会等でも活用させていただきます。

保護者向け薬物乱用防止パンフレット発行

NO! DRUG 薬物の誘惑は意外なほど身近に迫っています。うちの子に限って…本当に大丈夫ですか…?
令和5年度「薬物乱用防止パンフレット」が完

成し、全国の都道府県市高等学校PTA連合会加盟校へ順次お届けしております。

各学校のご担当者には新入生保護者への配布をお願いいたします。
ご家庭で、PTA等の研修会でご活用ください。ちなみに、弊会HP内の二コースを貼り付けました
が、例年同様にコメントを頂けるとありがたいです。



※このパンフレットは、一般財団法人日本宝くじ協会の社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです。
一般社団法人全国高等学校PTA連合会

北海道地区

北海道高等学校PTA連合会

学校、家庭、地域が一体となり、多様性を大切にすることを育む千歳高校の取組

1 はじめに

PTA加盟校数、245校を有し、広域性に特色をもつ北海道においては、地域と学校の関係は、車の両輪のごとく一体感をもち、特色ある学校づくりや地域の活性化につながる、とても重要な課題になっていきます。その中で国際交流を学校の特色の一つに位置づけて、豊かな人間性を育む教育活動を推進している学校も少なくありません。今回は普通科、国際教養科(英

語科)、国際流通科(商業科)を併置し、自然に恵まれ、空港にも近く、道内産業発展の一翼を担う千歳市の中心に位置する千歳高校の取組を紹介します。

2 令和5年度のPTA活動

(1) 4月28日(金) PTA総会の開催
昨年度は、本校を会場として学年別に分かれてオンラインでの総会でしたが、今年度は4年ぶり

に对面での総会を開催しました。
(2) 6月9日(金)〜10日(日)第72回北海道高等学校PTA連合会大会後志大会参加
全道大会では、600名ほどの参加者があり、本校からはPTA会長をはじめ6名で参加しました。1日目は全体会が開催され、漫画家の魚戸おさむ氏による『漫画と絵本で描いた『食べる』こと、生きる』と題して講

演が行われました。2日目は新しい形式で分科会が実施されました。参加者は4つのテーマ(PTA活動・生徒指導・地域連携・家庭教育)毎にそれぞれ異なる会場に分かれ、基調講話を聴いた後、5人程度の小グループに分かれて協議を行いました。この形式により、他校のPTA役員と対話を多く重ねることができ、これまで以上に充実した大会になりました。

(3) 7月6(木)〜8日(土)千歳祭(学校祭)
4年ぶりにPTAによる模擬店を実施しました。今年度は、「焼き鳥」・「飲み物」の提供をしました。60数名のPTAが参加しました。大変生徒

から好評で購入した焼き鳥・飲み物が全て完売となりました。コロナ禍前などはカレーライスやトッポギなども提供していたところもありました。



7月7日 学校祭PTAによる模擬店

(4) 8月24日(木)〜25日(金)第72回全国高等学校PTA連合会大会宮城大会参加
PTA会長をはじめ4名で、二日間に亘り大会に参加しました。大会1日目は各分科会に分かれ協議などをおして全国の会員との交流を深め、2日目は仙台育英高校の須江航野球部監督の講演会が行われ、人を育む上での示唆に富む内容で、会場を埋め尽くした参加者も大いに感銘を受けました。

(5) 9月18日(月)PTA研修旅行の実施
「芸術に触れる」をテーマとして、保護者・職員25名が参加し、陶芸体験



及びTSUTAYAを見学するなど、大変有意義な研修旅行となりました。



9月18日 P T A 研修旅行

(6) 各種委員会活動
①生活委員会
登校指導

- 学校祭の巡回指導
神社祭の巡回指導
(地元：千歳神社)
- ②教養委員会
研修旅行の企画・運営、芸術鑑賞の受付
- ③総務委員会
年3回のP T A だより発行

3 P T A で取り組む国際交流活動

(1) 韓国ソウル市立空港高校との姉妹校交流
空港に近い学校同士という縁で、韓国ソウル市立空港高校と姉妹校提携がなされ、31年目を迎えています。生徒・保護者・教員が一緒になった



韓国空港高校を新千歳空港で歓迎



韓国空港高校との支笏湖畔でのP T A 姉妹校交流

相互交流を行っており、コロナ禍以前の平成30年度の7月に空港高校の生徒10名及びP T A ・教職員が本校を訪問しました。その際、国立公園の支笏湖畔での歓迎会、ホームステイでの滞在や日

韓の生徒合同の授業への参加、保護者同士による地元老舗菓子店の工場見学などをとおして、国際交流を深めました。10月には本校生徒10名、P T A 2名、校長・教諭2名が韓国空港高校を訪問し、

日韓の生徒合同の英語授業への参加やP T A による夕食歓迎会など保護者同士、教員同士の交流も大いに盛り上がりました。
(2) 多様性に富んだ人々との交流
国際教養科が中心となり、国際交流の機会を企画し、海外の様々な国の人々が本校を訪れています。近年では、ニュージーランドの先住民族、マオリの人々と千歳市在住のアイヌの人々を招き、生徒・保護者が一緒になって異文化理解について学びました。マオリの方から、ニュージーランド

の国歌が英語だけでなくマオリ語でも歌われるように国を動かした話が熱く語られるなど、異なる文化の人々が一堂に会して交流を深めました。
(3) その他
千歳高校では台湾などの海外への修学旅行を実施しており、生徒・保護者の理解はもとより、地域の観光協会やJ I C A (国際協力機構)とも連携を図りながら多様性を大切にする心豊かな人を育む活動を学校・家庭・地域が一体となって実践しています。

東北地区

青森県高等学校P T A 連合会

研修会でP T A 活動を活性化しよう

青森県高P連はコロナ禍の影響で、ほぼ3年間県レベルでの研修会を控えざるを得ない状況が続いていました。他県でも同じような状況だったろうと思われず。

令和5年度はコロナが5類に変更され、ようやく本県校P連の研修会も元の状態に戻ることにできました。

しかし、3年のブランクは大きく、研修会への参加者もコロナ前と比べると予想以上に少なくなっていました。改めて活動は継続が大事だと

思うのと同時に、今こそ魅力ある研修会を企画して以前のような活発なP T A 活動にしなければと思われました。

令和5年度本県では調査広報委員会の広報紙づくり研修会、研修・健全育成委員会の合同研修



広報紙づくり研修会の様子

会、進路対策委員会の進路指導研修会、全県の単位P T A 会長会議での研修会を実施しました。

広報紙づくり研修会は以前には常に100名を超える参加者がある人気の研修会でしたが、令和5年度はかつての半数程に落ち込みました。今年度は地元新聞社の編集委員の方を講師に迎え、「実践まわしよみ新聞で学ぶ紙面づくりのコツ」と題してご講演を頂き、その後、参加者をグループ分けし、実際に壁新聞を作

りながら魅力ある広報紙づくりのコツを学びながら実践的な研修を実施できました。次年度はきつと口コミで参加者が増えるものと期待しています。

研修・健全育成委員会の合同研修会はトリセツシリーズの著者で有名な脳科学者の黒川伊保子さんをお招きして「息子・娘のトリセツ」と題してご講演を頂きました。脳科学者の視点から男子と女子の生物学相違からの行動原理や、親としての対応の仕方、考え方を学

びました。終了後の感想を読みますと、皆さん一様に参加してよかった。子どもへの接し方がよく理解できた。お話が為になったという声が多数寄せられていました。

進路指導研修会では「つがる民謡歌手かすみさん」を講師に迎えて、

研修会を開催しました。かすみさんは栃木県日光市の出身で、中学校を卒業と同時に、つがる民謡歌手を目指して縁もゆかりも全くない本県の高校へ進学し、師匠の元で修行をし、現在はプロの民謡歌手として活躍されています。講演では中学

3年生のかすみさんの将来の希望や背中を押してくれたご両親、中学の先生からのアドバイスなどに、興味深いお話をメインに、途中、かすみさんの素晴らしい津軽民謡も聴かせていただき、和やかな雰囲気の良い研修会になりました。

自分の子どもの夢を叶えさせるために親はどういう接し方をしてあげた方がいいのか大いに参考になった研修会だったと思います。

単位PTA会長会議では本県を代表する観光地奥入瀬渓流の魅力伝えて「NPO法人 奥

入瀬自然観光資源研究会」事務局長の河村祐一氏をお迎えし、私たち地元の人でも知らない奥入瀬渓流や十和田湖の魅力を美しいスライドを使ってご講演を頂きました。講演を聴いて改めて自然の景観を守ることの重要性や自然との共存について

考えさせられた研修会となりました。

青森県高P連ではこれから保護者のニーズを汲み上げ、魅力ある研修会を企画し、本県高P連の活性化に繋げていきたいと考えております。

関東地区

山梨県高等学校PTA連合会

「コロナ禍を乗り越えて」

関東地区大会

第69回関東地区高等学校PTA連合会大会が、令和5年7月7日～8日に、栃木県において、約千七百名の参加者を得て、開催されました。

一日目は、宇都宮市内の栃木県宇都宮産業展示館において、開会式、表彰式が行われ、続いて、『花とみどりの力』と題して、「はままつフラワーパーク」理事長の塚本こなみ氏の記念講演がありました。

二日目は、会場を鬼怒川温泉に移し、5つの分科会に分かれて、関東地

区内の高等学校8校と栃木県内の2つの支援学校による発表がありました。三千名を超えていたコロナ禍以前に比べると規模的にはかなり縮小しましたが、高P連に所属する会員が対面で発表し、意見交換を行うことには大きな意義があることを再認識させられました。

県高P連の話題から

一 高P連定期総会

令和5年5月に開催された山梨県高等学校PTA連合会の定期総会は、議案の一つに意見が集中し、使用会場の時間

制限が迫る中で総会を打ち切り、結論を持ち越すという事態になりました。その議案は、『高P連会費の値上』です。

高P連会費の値上については、令和3年度から検討をはじめ、それぞれの年度において、確認を得ながら議論を進めてきました。いざ結論を出すという段階になると、なかなか難しいものです。

特に、コロナにより3年近くPTA活動が行われていない状況にあつて、反対意見の中にはPTA存続に対する疑義も多く出されました。

結果的には、本年1月に開催した臨時総会において承認されましたが、今後の高P連の在り方についても課題が残されました。

二 事例発表&意見交換会

コロナの影響は単Pにおける活動にも大きな影響を及ぼしており、3年近く、PTA活動が殆どできなかった学校もあります。

こうした中で、自校だけでなく、他校の取組の様子を知りたい、また、他校の保護者と直接に会話をしたいという意見がでてきました。

県高P連では、この要望を受け、活動が開始できた学校からの事例発表とそれを受けての意見交換会を実施することにしました。

本年度は、県立甲府南

高校の視聴覚室と教室を利用させていただきました。

〈事例発表〉

・県立白根高校(写真①)
県立白根高校におけるPTA活動の特徴は、父親が積極的に活動に参加することです。

例えば、学園祭のときに子供たちと一緒に作る「おやじ焼きそば」(写真②)やボラティアで有志が集まって行う「校内施設のペンキ塗り」などがあります。



①活動に参加するお父さん方



②おやじ焼きそば

果樹園の中に位置する学校ですが、伝統的にPTA活動が盛んな学校で、コロナの嵐が一段落したところで、従来の活動を開始しました。

・県立山梨高校(写真③)
成年年齢の引き下げに向けた研修会を、保護者主催で開催しました。

県民生活センターに依頼した講師による講演の後、子供たちの中に保護者や教師も入れて、少数のグループを作り、座談会形式でそれぞれの考

えを出し合いました。子供たちにとっても、有意義な会になったと思います。



③生徒と保護者のグループ討議

・県立農林高校(写真④) 令和5年度関東大会の第1分科会(学校教育とPTA)で発表した内容をそのままの形で再現していただきました。農業の専門高校らしい様々な取組が紹介され、その取組の中に、PTAも主体的に参加している様子が伺われました。



④関東大会で発表する河野会長

〈意見交換会〉(写真⑤) 事例の発表が終わった後で、参加者全員が8、9人のグループに分かれて、PTA活動全般についての意見交換を行いました。予定時間を超えて熱心に議論しているグループが多く、子供の教育に対する保護者の皆さんの熱い思いを感じました。この情熱を今後のPTA活動に活かしていきたい



⑤他校の保護者との意見交換

と考えています。

東京地区

東京都公立高等学校PTA連合会

東京都公立幼小中高PTA合同リーダー研修会

令和5年11月25日東京都公立幼小中高PTA合同リーダー研修会を東京都板橋区立板橋第十小学校の富田和己校長をお招きして都内で講演をしていただきました。

富田校長先生は一般財団法人日本アンガーマネジメント協会のファシリテーターをされています。『怒りで後悔しないためのアンガーマネジメント』と保護者として知っておきたいことと題し、

2時間お話ししていただきました。

講演の内容は、子育て中のパパ、ママと頑固おやじに聞かせたい「上手な怒りの伝え方」

そこで参加者の保護者の方から、次のような感想をいただきました。

アンガーマネジメント？何だそれ？アンガーマネジメント？山根？初めて聞く言葉でした。講師の富田先生は校長先生ですが、若くて物腰

が優しく、心に響いてくる話し方をします。

「アンガーマネジメントとは、アンガーマネジメント後悔しいこと 怒る必要のあることは上手に怒れ。怒る必要のないことは怒らないようにすること。」との説明の中で具体的な話し方、心の持ち方等を教えていただきました。

やってはいけない怒り方、上手な怒り方。私が一番印象に残ったお話しでした。

NGワード：「前から言ってるでしょう？何度も言ってるでしょう？」
あゝ汗汗、よく子どもに言っている言葉です。

OKワード：「今のことだけ怒る」
今のことだけかあ…？
いつい言っちゃうよね！

Q.「何度も言ってるのに聞かない時にもこの言葉は言ってはいけないのですか？」
A.「前から言ってるでしょう？」と行って、相手が言うことを聞きますか？聞いてないなら言わなくて良いんです。だから今のことを怒ればハッとしてました。「前

から言ってるでしょう？」は私が言いたかっただけだったんですね。

このほかにも沢山の為になるお話を聞かせていただきました。

この研修会で学んだ事を実践すれば、先生のように穏やかに話しながら相手に自分の思いを伝えることが出来るので、大きな声で怒鳴ったり、怒ったりする必要が無くならないと思います。

どこかの市長みたいに怒鳴ることはしなくていいんです。
また、機会があればぜひ受けたい研修会でした。

以上のように、子供に對して怒りの感情が沸いたときにどうすればいい

か、保護者が常に抱える悩みです。「あとで自責の念に苛まれる」ことがないように怒りの感情を上手にコントロールする手法としてアンガーマネジメントについて学びました。



北信越地区

石川県高等学校PTA連合会

石川県立金沢二水高等学校の教育とPTA活動

1. 本校の概要

本校は昭和23年、学制改革により金沢第二高等学校として新設されました。翌年、統合制高等学校として金沢二水高等学校が創設され、平成30年に創立70周年を迎えた石川県有数の伝統校であり、進学校でもあります。本校の校訓である「自由・闊達・明朗・真摯・清新」は「小さなことにこだわらない広い心で、のびのびと朗らかに、そして、真面目でひたむきで爽やかであれ」という意味です。この校訓のもと、生徒たちは日々勉学や部活動、学校行事等に取り組み、青春を謳歌しています。

2. 本校の特色

(1) いしかわニュースーパーハイスクール
平成24年度より、「いしかわニュースーパーハイスクール推進事業」の指定を受けています。この事業の目的は、卓越した「思考力・判断力・表現力」とリーダー的資質を備え、郷土の文化や伝統に立脚した上で国際社会において活躍できる人材を育てるとともに、より高い進路実現をはかることです。本校では、総合的な探究の時間、リアルサイエンス、グローバルソリューションといった探究活動や、からたち塾、あかつきフォーラムといった各界・分野で活躍する卒業生の話を聞き将来を設計する活動等を推進しています。



自然科学コース臨海実習



人文科学コース模擬裁判実習

(2) STEAM教育
令和5年度、本校は石川県よりSTEAM教育推進事業のモデル校に指定され、STEAM教育について研究開発を進めています。
本校では、「総合的な探究の時間の深化」と「教

科横断型授業の実践」を掲げています。STEAMウィークとして特別授業を集中的に行う期間を設け、最終日には「第2回探究・STEAMフォーラム」を開催、他校からも70名を超える教育関係者が公開授業（教科横断型授業と課題研究ポスター発表）と研究協議会に参加され、90%を超える生徒、参観された教育関係者ともに評価していただきました。

(3) 生徒会活動



例年、二日間で約六千人の方々が来場する県内最大規模を誇る文化祭です。

② 二水ACT

(Action Cooperation Tradition)
全学年が遠足に併せて、清掃活動をします。豊かな心とボランティア精神を身につけ、また美しい金沢を守り続けていきます。平

成18年度には金沢市、令和2年度には石川県から表彰を受けました。

③ 二水LIVE
(Liberty Identity Internationalization Volunteer Environment)
二水ACTのボランティア精神を発展・多様化させ、令和5年で25年目になる活動です。生徒会執行部が内容を企画し、部活動や希望者による参加で行っています。例年、校外近隣清掃、ボランティア演奏などを行っています。



二水LIVE

3. PTA活動

本校のPTA活動は、校訓と同じく、自由・闊達な活動スタイルです。組織は、役員・理事で構成され、役員はPTA活動の計画を中心となって進める役割で、各学年から例年4名程度選出し、全校で12〜13名の保護者で構成されています。理



二水ACT後の3学年約1200人へアイス配り



二水ACT時の清掃ボランティア



二水祭での食堂運営

事は年二回開催される理事会と、イベントでのサポートをしていますが、度々度としていますが、20名近くご協力してくれる場合もあります。そして先生方とともに、活動を行っています。会長、副会長、会計などの役割はありますが、自由闊達に、常に

皆で意見を出し合い、お互いの意見を尊重しながら議論を進めています。
主な活動は、前述にあります。二水ACCTにおける、清掃ボランティア

後の全校1200名の生徒へ、アイスを配付し活動をねぎらいます。また県内最大規模を誇る文化祭「二水祭」では、食堂運営と防犯をサポートし

ています。食堂では伝統のめつた汁と、令和からメニューに加わったキーマカレーが生徒や来場するお客様のお腹を満たします。また、外部からの

来場が多いため、防犯面から学校周辺の防犯対応にも協力しています。近年では、共働きの保護者が多く、全員が学校に集まるのが難しい場合もあ

り、オンライン参加も可能なハイブリッド方式で役員会を開催し、より参加しやすい環境づくりに努めています。数年後に控えた創立80周年に向け

て、引き続き教職員・保護者が一丸となって、生徒の学校生活をサポートして参ります。

北信越地区

新潟県高等学校PTA連合会

地区PTA研修会について（新潟県）

新潟県高等学校PTA連合会には、県内公立私立95校が加盟しています。各校それぞれが工夫した取組を行っていますが、今回ご紹介するのは、県内を10地区に分け、県全体で行われている地区PTA研修会の取組です。

地区PTA研修会は、おもに各学校のPTA役員、学校の管理職、担当教員などが参加します。それぞれの地区内で、その年の担当校を中心に企画を決め、毎年11月に、地区それぞれの会場で行っています。担当校は、研修会が機械的にならないように、毎年日程・内容・参加等の見直しを図り、より充実した研修会が行われるように努めています。

各地区の企画は、県内共通の部分と、地区ごとに異なる部分があります。県内共通の部分は、当該年度の県高P連の活動内容や案件等を説明する部分であり、また、ここ何年かは、県教育委員会と協力し、いじめ等の防止や自殺予防についての講話を行っています。

その後は、各地区工夫した企画となり、各地区内の学校同士の情報交換や発表、講演会を行い、より研修を深めています。講演会の講師の先生は、地区の企画によりさまざまです。本年度、10地区でどのような分野の講演会が行われたかを簡単に紹介します。

①新潟地区では、「やってみたいが実現する社会・学校・地域」と題して、地域の活

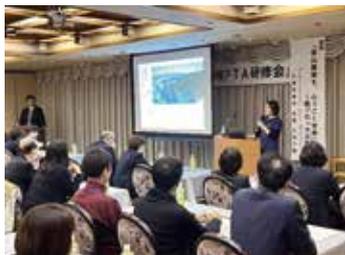
性化や創作表現集団を主宰されている方の講演会が行われました。②巻地区では、地域のイベント会社の代表の方より地域の活性化についての熱い想いを語っていただきました。③新発田・

村上地区では、「愛とやる気を育てる心理学〜輝く人生のために必要なこと〜」と題し県内大学で心理学を講義されている先生から、「自己肯定感を育てるかわり方」についての講演がありました。④新潟地区では、「子供とかかわる原則」といじめ問題」と題し、県のいじめ防止活動に関する県民会議の座長をされている方の講演がありました。⑤長岡地区では、「もったいない半生」から考えるこれからの世代にとつての起業家精神

と題して、スポーツクラブ代表の方よりご自身のキャリアをふまえ、いま求められている力について熱く語っていただきました。⑥三条・燕・加茂地区では、「教育とAIと環境変化」中の活用のポイント」と題し、教育や生活事業を展開している会社の方より、生成AIと教育のかかわりを中心に講演をいただきました。⑦魚沼地区では、「里山農業を、心うごく世界に〜親ブロックの作法〜」と題し、持続可能な里山農業を目指している女性農業経営者の方から、農業の魅力やすばらしさについての講演がありました。⑧柏崎地区では、「教育を巡る諸問題〜家庭への期待」と題し、県内高校長を務め、教育行政経験の豊富な方より、ご自身の経験に基づいた示唆に富んだお話がありました。⑨上越地区では、「ピンチはチャンスなり〜空手道をして東京2020オリンピックから学んだこと〜」と題し、東京2020オリンピ

ック空手男子組手監督の方より、競技者として、また指導者として世界で戦ってきた経験をお話いただきました。⑩佐渡地区では、「佐渡島で展開する探究的な学び」と題し、県内大学の先生から「子供の哲学」についての講演がありました。字数の関係で、ごく簡単な紹介になりましたが、さまざまのジャンルから、現在のタイムリーな話題あるいは教育の本質にかかわること、地域の問題など、地区の担当者が、工夫を凝らした企画を毎年運営し、今年度は10地区全体では、500名近い参加者があるなど、大変有意義な研修会が行われました。研修会終了後は、教育懇談会を開催し、より親睦を深めた地区もありました。今後とも、こうした地区ごとに、地域に根ざしたきめ細かい様々な課題を取り上げられる研修会を続けていきたいと考えています。

り、オンライン参加も可能なハイブリッド方式で役員会を開催し、より参加しやすい環境づくりに努めています。数年後に控えた創立80周年に向けて、引き続き教職員・保護者が一丸となって、生徒の学校生活をサポートして参ります。



魚沼地区PTA研修会



長岡地区PTA研修会



新潟地区PTA研修会

東海地区

愛知県公立高等学校PTA連合会

「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」より

愛知県高P連では、平成27年より「互いに学び、楽しくつながるPTA活動」を実施しています。

安全・進路・ボランティア、別支援の3部門に分けて、単位PTAが取り組んでいる活動を募集し紹介するものです。他校での取り組みをヒントに、日ごろのPTA活動を見直すきっかけとなることを目指しており、応募事例について、全校PTAからの投票により表彰・発表団体を選んでいきます。令和5年度の各部門表彰事例を紹介します。

愛知県立岡崎北高等学校 PTA

学校が所在する岡崎市において、昨年6月、台風の影響より大水害が発生し、通学路は水没し、被災する生徒も出ました。いつ起こるかかわらない災害に対して、全生徒・職員が参加して、自分に

何ができるかを考え、主体的な防災意識を育てる機会となるよう、学校祭に合わせて次のような企画を行いました。

①救急救命講習
進路研修委員が運営するブースで、講師による心肺蘇生・AED・三角巾講座を行いました。



救急救命講習（心肺蘇生）



救急救命講習（三角巾）

②地震体験

災害を自分ごととして考えられるように、6月の豪雨災害の映像を流し、市消防本部からの地震車による地震体験を行いました。併せてパネルクイズで知識も深めました。

③ブレインストーミング

学校が避難場所となった場合を考え、支える側の一人として、高校生の視点で何ができるか、何が必要かを考えてもらいました。

愛知県立愛知総合工科高等学校 PTA

子どもたちが授業で取り組んでいる工科高校の実習内容を少しでも経験できるようにと、各学科で指導されている先生方のご協力を得て、6つの体験講座を計画しました。1講座10人、時間は2時間で、工科高校の、特に本校ならではの内容による研修となりました。

①トンボ玉作り

（実験用バーナーによるガラス細工）

②ハンドクリーム作り

（ホホバオイルと天然香料のオリジナル製品）

③ロボットで自動搬送

（プログラムを作りArduinoロボットなど操作）



「ロボットによる自動搬送」講座

④フットライト作り

（電気工専用の材料で足元灯を製作）



「フットライト作り」講座

⑤3DCADでの住宅設計

（平屋建て住宅の内観・外観を設計）

⑥お猪口作り

（粘土から「玉作り」により成形した後日焼成）

講座を通じて、同じ学科の保護者と話ができて、自宅に帰って子どもと共通の話題もできました。

愛知県立瀬戸つばき特別支援学校 PTA

①防災講演会

前年度より検討して決めた研修テーマ「防災」に沿って企画しました。学校における防災への取組や課題について学校の担当者からお聞きするとともに、名古屋市港防災センターから講師を招いて、専門的な立場からのお話も聞きました。学校の防災に対してPTAとして協力できることは何かを考え、また災害への正しい知識を得て、心構えを新たにする良い機会となりました。



防災講演会

②つばきサロン

普段なかなか話をする機会が少ない他部・他学年の保護者が交流する場として、継続して行ってきました。今回は、卒業生に贈るコーサージュ作りと給食試食会を行いました。作業をしながら、あるいは給食を試食しながら、和やかな雰囲気の中で、お互いの悩み事の相談もできる機会となりました。つばきサロンは、内容を変えながら、年に3回開催しています。



給食試食会



近畿地区

京都府立高等学校PTA連合会

ポストコロナにおける「PTAのこれから」

1 はじめに

令和5年度は、全世界を席巻したコロナ禍も、5月8日に感染症法上の扱いが2類から5類に変更され、PTAにおいても色々な活動が再開、または形を変えて動き出した一年となりました。令和元年に全国高P連京都大会を担当させていただいた京都府では、その後の全国大会で大変御苦労いただいた開催地に思いをこめて、ポストコロナにおける単位PTAのあり方や連合会の役割を改めて考えながら活動を行って参りました。そのような中、令和5年度近畿地区滋賀大会において、大会テーマが「みんなで考えよう『PTAのこれから』」と設定され、PTAを取り巻く環境の変化に対して、「高等学校の教育を支える組織としてのPTAのあり方」を参加者一同で考える良い機会を得ることができました。コロナ禍でのPTA活動への影響とそれに対応した経験

を活かし、京都府高P連では、保護者が求めるPTA活動や、連合会組織の役割の再確認等について単位PTA役員の方々と一緒に考えるとともに、情報共有を行っています。こうした内容の一部でも、令和6年度近畿地区高等学校PTA連合会京都大会において紹介することができれば、滋賀大会で提起された課題の解決に向けた端緒になるのではと思っています。

2 コロナ禍での連合会の取組

一斉休校があった令和2年度については、各単位PTAも連合会も総会、理事会、役員会等については書面審査を余儀なくされましたが、令和3年度には多くの単位PTAでオンライン会議が取り入れられ、連合会も相互交信可能なオンライン配信で総会を実施しました。令和4年度からは参加人数に制限を設けながら、現地集会形式とオンラ



令和4年度ハイブリッド総会



要望書の提出

イン配信のハイブリッドで総会を実施しました。また、連合会活動を全てのPTA会員に「見える化」する取り組みとして、京都府教育委員会との懇談会で学校現場の状況等をお聞きし、連合会各ブロックからの役員の声を吸い上げた要望書を提出するとともに、高P連通信を通してこうした取組

を報告しています。要望活動を行った成果として、府立学校のエアコン設備の更新や施設設備充実を計画的に進めていただけることを報告することが出来ました。

3 これからのPTA活動への取組

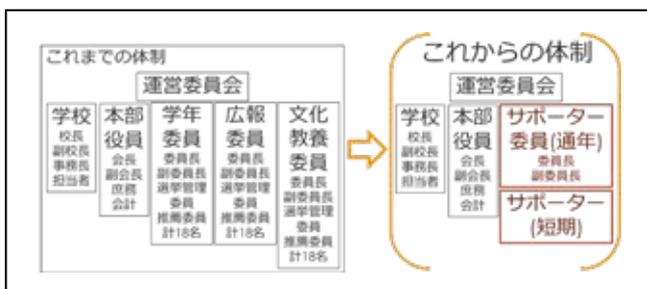
京都府内の各単位PTAからも新しい取組の報告が寄せられています。京都市内の府立高校では、全保護者を対象に、PTA活動についての保護者アンケートを実施しました。その結果、PTAに求めることとして、

他の保護者との交流の機会、子どもへの関わり方・考え方を情報共有する機会を求めている事などが分かりました。

また、本部役員を担える可能性のある保護者の意向調査では、回答者のうち約7%の保護者が本部役員に関わっても、良いという結果も出てきました。(回答者300人とすれば21人が本部活動に協力してくれる可能性が有ります。)こうした結果を連合会加盟の単位PTAと共有する事で、持続的なPTA活動を維持で



PTA活動についてのアンケート調査



サポーター制の導入

きるのではと考えています。また、同じく京都市内の府立高校では、PTA活動にサポーター制を取り入れ、多くの保護者が活動に関わりやすい環境づくりに取り組んでいるとの実践報告がありました。その他にも文化祭にキッチンカーを導入したケースなど、ポストコロナにおける新しい形でのPTA活動を考え実践していくことで、保護者自らも子どもたちと共に学ぶ機会が得られ、より充実した学校・保護者の関係が構築していくように思っています。

4 おわりに「不易流行」

令和6年7月15日(祝・月)国立京都国際会館で、近畿地区高P連京都大会を「不易流行」変えてはいけないこと、変わらない

くってはならないこと」を大会テーマに、京都府高P連、京都市高P連が力を合わせ開催します。色々な意味で「PTAのこれから」が注目される

中、PTAが本来の活動を展開できるよう、実行委員会一同心を込めて準備を進めています。新しいこととして、京

これまで短かった申込期間を1ヶ月程度延長できるようにするとともに、学校から参加費が振り込まれたことが確認できれば自動的に人数分の参加証

(QRコード)を発行、入場時にはそのQRコードをスマートフォンで読み取る事で入場管理する予約プラットフォームのシステムを構築しています。

これまで大会運営に要していた多くの保護者の動員削減や実行委員会事務局の労力が削減でき、大会開催地の負担が減らせる取組を行っています。

中国四国地区

岡山県高等学校PTA連合会

集まれば「こころはればれ 晴れの国 集まる」「話す」の大切さ再発見

第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会は令和5年7月14日倉敷市民会館において、地区内9県から会員及び関係者約1,200名が一堂に会し開催いたしました。

開会式では菊地潤大会実行委員長の歓迎挨拶に

続き、全国高P連の山田博章会長から「大会テーマに掲げられているように、リアルに顔を合わせ対話



開会式

歴史的建造物を建築家の観点から説明されるとともに渋沢栄一など歴史的人物との関わりを交え、興味深い内容を軽妙な語り口で語られ、またスクリーンいっぱい映し出された美しい写真と相ま

つて、参加者一同話に引き込まれていきました。昼食時にはホワイエで講師による著書サイン販売が行われ、著書の購入と合わせてサインを求めて長蛇の列ができたり講師と一緒に写真に収まるなど好評を博しました。また、高校生による生産物販売も商品が品切れになるブースが相次ぐなど



稲葉なおと氏 講演を終えて

「倉敷から始める家族旅」と題して、作家・写真家・建築家の稲葉なおと氏に講演をいただきました。講演では県下の

高知県高P連の都築靖正副会長、岡山県高P連の光岡宏文副会長を議長に三つの研究発表が行われました。まず、広島皆実

高校の杠基PTA会長が「仲間と共に『不撓不屈』でのりこえろ!!」とコロナ禍学校とPTAの初挑戦への軌跡」と題して発表されました。コロナ禍で学校行事が中止になる中、全校生徒約1,000人が参加する恒例の大運動会を

無観客で開催し、PTAが保護者に観てもらえるよう運動会の様子をネット配信することからDVD作成まで関係者の熱意が伝わる発表でした。次に、徳島県吉野川高校の瀬尾陽子PTA顧問が「地域に愛される学校ともに挑んだ10年」再編統合から10周年を迎えて」と題して発表されました。生徒減により農業高校と商業高校が統合し吉野川高校ができる上での、新たなPTAの組織作りまでの経緯と10年間の活動発表でした。

最後は、倉敷南高校の田野美佐前PTA会長が「運営の充実と協力体制により、学校の学びを支える」くキャリアの学び・グローバルな学び」と題して発表されました。コロナ禍においての学校行事への参加のあり方など、様々な業種からなる保護者の多面的視点からの意見を取り入れた予測不可能な時代での学校を支えるPTAの活動発表でした。

その後、隣の倉敷アイビースクエアに会場を移した「役員交流懇談会」は4年ぶりの開催となりました。鍵本芳明県教育長の御臨席をいただき、アトラクションでは地元倉敷が生んだ和太鼓団体「倉敷天領太鼓」の勇壮で迫力のある演奏もあり、集まった約100名の参加者が久しぶりの交流機会を持てたことで大変な盛り上がりとなりました。

閉会行事では、菊地潤大会実行委員長の閉会挨拶に続き、次期開催県の高知県高P連の佐竹大樹会長が壇上に集まったPR隊のメンバーと一緒に「来年の高知大会への参加を呼びかけました。」



倉敷天領太鼓の演奏

九州地区

鹿児島県PTA連合会

つながり さがそう つなぐ
〜変わりゆく未来に向けて今できること〜

4年ぶりの対面開催となった。第67回九州地区高等学校PTA連合会大会「つながり さがそう 佐賀大会」は、佐賀大会へ変わりゆく未来に向けて今できること〜をテーマに、6月29日(木)ホテルニューオータニ佐賀、30日(金)SAGAプラザ・佐賀市文化会館で2日間にわたり、開催されました。ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、宮崎大会・鹿児島大会は、誌上開催、長崎大会は、Web開催と一部ハイブリット開催、4年ぶりの対面開催となり、あいにくの豪雨の中ではあったが、九州各県から多くの会員が参集した大会となった。29日は、九高P連4委員会、理事会・総会が開催され、4委員会では、前年度からの引継ぎ事項の確認・情報共有や意見交換、本年度の協議議題などについて、議論がなされ有意義な時間の委員会



第1分科会



第1分科会



第2分科会



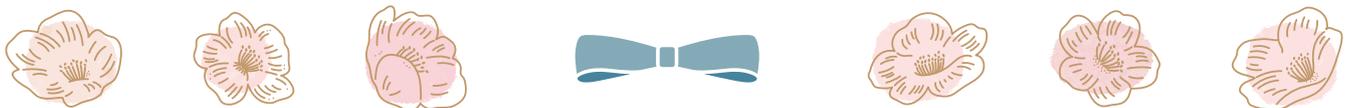
全体会

となった。30日は、分科会・アトラクション・全体会・記念講演が行われた。アトラクションでは、佐賀県立鳥栖商業高等学校ダンス部の演技が華やかに行われ、各3分科会は、第1分科会は、青少年の健全育成とPTA活動、第2分科会は、進路指導とPTA活動、第3分科会は、新時代の「大人」に、未来を託してのテーマのもと、第1分科会・第2分科会では、テーマに沿って4校の事例発表・質疑応答・意見交

換等が行われた。また、第1分科会では、「青少年の健全育成とPTA活動」のテーマのもと、鹿児島県立川薩清修館高等学校PTAが「PTA活動の適正化について」PTA会長の松田邦雄氏が事例発表を行った。PTA活動適正化のポイント「スリム化されたPTA活動は、本来PTAが身にまよって筋肉(必要であれば)身体や知恵を使って汗を流すこと」までも、そぎ落してしまっていないか」との観点から活

動をもう一度、振り返り検証し、適正化の4つのポイントを踏まえ、「ムダ(贅肉)を削り、余白を活かす(ニーズを踏まえた新しい取組にトライする)筋肉質で適正化されたPTA活動に取り組んでいく」との内容を発表した。第3分科会では、佐賀県立佐賀東高等学校の演劇部による演劇上演、パネルディスカッションが行われた。子どもたちの自己決定や自尊心を高める取り組み発表を聞き、親としての関わり方を改めて再認識する学びの場となった。基調講演では、大阪大学名誉教授、小野田正利氏が「人としての尊厳の大切さ」

〜「愛着の問題」と「いじめ問題」〜という演題で、自分と他者(保護者とわが子、わが子と他の子どもたち)の関係のあり方「その人らしさ」を認める自分であるかどうか互いの尊厳を尊重することの大切さについて、子どもと親は別人格であり、子どもの気持ちに耳を傾けることの大切さが子どもの尊厳を大事にするという話を聞き、改めて子育てについて、振り返り考える良い機会となった講演だった。大会県連の会長のご挨拶の中に「九州はひとつ」の合言葉のもと、今後も歴史を刻む協議、研修の場となるよう、大会を通して新しい輪が広がることを期待しています。とありました。本大会では、時代に沿った充実した学びの場を共有した大会となりました。





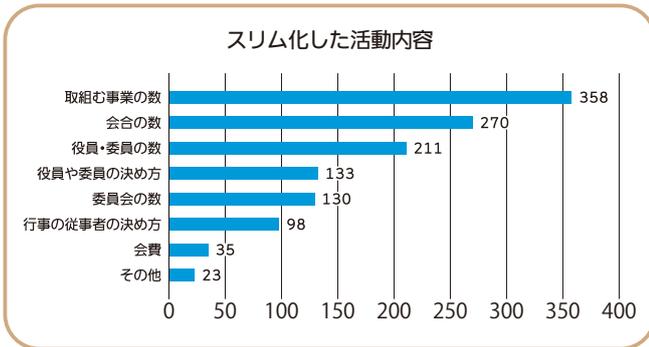
令和6年3月19日(火) 4月19日(金)において全国高等学校PTA連合会アンケートを実施いたしました。

全国各都道府県市PTA連合会加盟学校の1,425名のPTA会長様、副会長様にご協力いただきました。お忙しい中誠にありがとうございました。今後の全国高等学校PTA連合会の活動に活かしていくと共に、各高等学校PTA活動の参考にしていただければと思います。

アンケート結果報告

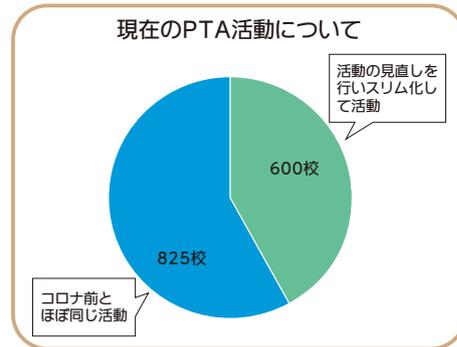
【設問2】

活動の見直しを行いスリム化して活動した学校にお聞きします。どのような見直しを行いましたか。(複数回答可) (616件)



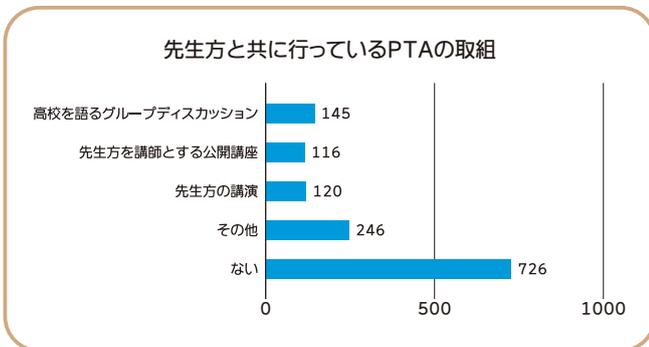
【設問1】

コロナ禍後の現在のPTA活動について。(1,425件)



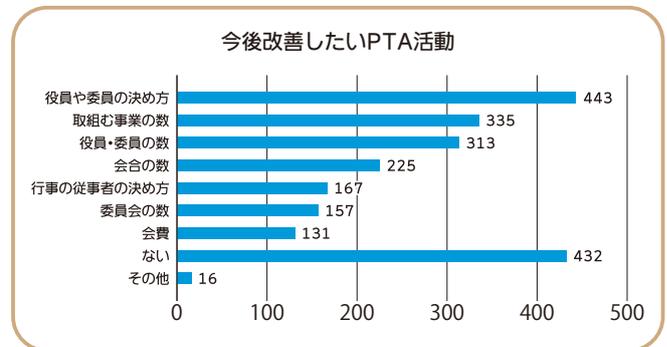
【設問4】

PTAの取組で、管理職の先生や先生方と共に行っていることはありますか。(複数回答可)(1,393件)



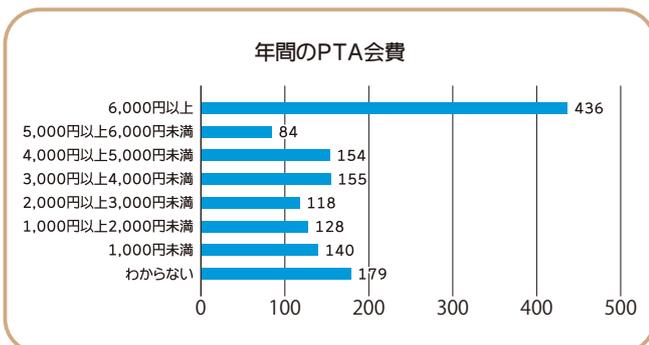
【設問3】

全ての学校にお聞きします。今後新たに改善したいと思うものは何ですか。(複数回答可)(1,376件)



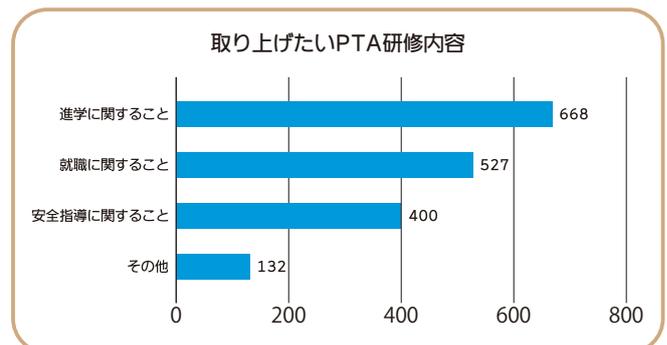
【設問6】

皆さんの学校のPTA会費は年間どのくらいですか。(1,394件)



【設問5】

PTA研修として取り上げたい内容は何ですか。(1,299件)



第73回全国高等学校PTA連合会大会茨城大会

メインテーマ 「歴史の町で変革を!!」
サブテーマ ～ 新たな時代が目に入らぬか ～

大会1日目 8月22日(木) 分科会(5会場)	
9:30	教育視察(希望者)
12:00～	受付
12:20～	アトラクション(会場毎)
13:00～13:20	開会行事
13:30～14:50	講演1
15:05～16:25	講演2またはグループトーク、フリートーク
16:30～16:40	閉会行事

大会2日目 8月23日(金) 全体会	
会場: アダストリアみとアリーナ	
8:30～	受付
9:00～	アトラクション(茨城県立大洗高校マージングバンド部)
9:30～10:30	開会行事・表彰式
10:40～11:50	記念講演 二所ノ関 寛 氏(第72代横綱 稀勢の里) 演題「人材育成の不易流行」
12:00～12:30	閉会行事
13:00～	教育視察(希望者)

分科会紹介

- 第1分科会 「教育の過去・現在・未来」～故きを温ねて新しきを知る～
会場: アダストリアみとアリーナ
- 第2分科会 「保護者・教師・生徒が抱える問題と解決法」
～ 新たな一歩を踏み出すために ～
会場: ザ・ヒロサワ・シティ会館
- 第3分科会 「新・生きる力と家族の絆」～子どもの心に風邪を引かせない～
会場: 水戸市民会館
- 第4分科会 「みんなで考えよう、これからのPTA」～あるべき新しい姿とは～
会場: ひたちなか市文化会館
- 第5分科会 「これからのコミュニティ・スクール」～地域社会との新たな連携・協働～
会場: 小美玉市四季文化館みの～れ

参加費	7,500円（オンライン参加は7,000円）
オンライン 配信内容	全体会 ライブ配信 分科会 期日を決めて後日配信予定
会場アクセス	公共交通機関をご利用願います。 貸切バスの駐車場をご用意する予定です。 第1分科会 JR常磐線水戸駅北口5番バス乗り場から乗車、 「大工町 三丁目」下車、徒歩6分 第2分科会 JR常磐線水戸駅南口から徒歩15分 第3分科会 JR常磐線水戸駅北口4～7番バス乗り場から乗車 約5分、「泉町一丁目」下車、徒歩1分 第4分科会 JR常磐線勝田駅東口より徒歩15分 第5分科会 JR常磐線水戸駅下車 ※JR水戸駅～第5分科会会場間は、シャトルバス 運行予定
申込方法等	茨城大会ホームページに、準備が出来次第掲載します。



常陸一宮鹿島神宮

日本三名園偕楽園

光圀公隠居所西山荘

藩校弘道館

霞ヶ浦から望む筑波山

ギネス記録牛久大仏



茨城大会Webサイトはこちらから

皆様のご参加を
お待ちしております
茨城県高等学校PTA連合会
茨城大会実行委員会



全国高等学校PTA 联合会賠償責任補償制度のお知らせ

あなたの学校も加入しませんか？
全国加盟高校の2校に1校が加入しています。

掛金

年間400円（保険料391円＋制度維持費9円）×生徒数

※補償開始日が令和6年4月1日の場合。補償期間中の加入については、月ごとに掛け金が減額となります。

補償期間

令和6年4月1日～令和7年4月1日

補償の範囲と支払済高額事故事例

<生徒もしくはPTAに過失があった場合が対象となります>



補償の範囲	補償限度額	事故発生件数割合
1. 生徒の行為に起因する賠償責任 (生徒個人の賠償責任)	対人・対物合算 ^(注) 1事故1億円 自己負担額1事故5千円 (注) 対人事故・対物事故合算して1億円が限度となります。	99%超
2. PTA活動の遂行に起因する賠償責任 (PTAの賠償責任保険)	対人 1名5千万円・1事故5億円	1%未満
	対物 1事故5千万円 自己負担額1事故1千円 (注) 対人事故・対物事故それぞれに適用されます。	
	保管物 加害者1名 10万円 保険期間中 500万円 自己負担額1事故5千円	

年度	支払金額(千円)	事故内容
H19年度	87,915	無灯火の自転車 ^(注) で歩道を走行中、後ろから人に追突し転倒させ、脳挫傷により要介護状態となり、死亡させた。 [過去最高支払金額]
H24年度	22,460	プライベートで外出中、自転車同士 ^(注) の接触事故。相手方脳挫傷となる、5か月後に死亡させた。
R1年度	47,549	自転車 ^(注) 走行中、対向の歩行者を見て右に避けたところお相手歩行者も同じ方向に避け衝突した。
R2年度	44,352	マスコミ報道事案/免責5000円/重複他社損保ジャパン社あり

☆上記のとおり自転車による人身事故が高額支払いになる傾向がありますが、**自転車事故に限らず国内における事故を24時間、幅広く補償しております**☆

詳しくは、「全国高P連賠償責任補償制度」手引き・チラシをご覧ください。
(各学校へ1月下旬にお送りしています。)

●制度についてのお問い合わせ窓口

一般社団法人 全国高等学校PTA 联合会
東京都千代田区神田佐久間町2-1
奥田ビル301号
TEL.03-5835-5711

●引受保険会社

引受幹事保険会社	東京海上日動火災保険株式会社 (担当：公務第二部 文教公務室)	TEL.03-3515-4133
共同引受保険会社	AIG損害保険株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社	TEL.03-6848-8480 TEL.03-3259-4061 TEL.03-3349-4679

AIG AIG 損保

一般社団法人 全国高等学校PTA 联合会後援

AIG高校生外交官プログラム
(参加費無料)

<https://www.highschooldiplomats.org>

「育てたいのは、子どもたちの未来。」

私たちはAIG高校生外交官プログラムを協賛しています。

AIG損害保険株式会社
TEL.03-6848-8500 <https://www.aig.co.jp>

MS&AD 三井住友海上

安心のゴールキーパーでありたい。

クルマの保険

すまいの保険

ケガの保険

マングローブの森づくり。
それは、豊かな地球を
未来に届けること。

マングローブ価値共創
100年宣言

東京海上日動
www.tokiomarine-nichido.co.jp

損保ジャパン
SOMPO Innovation for Wellbeing

Innovation for Wellbeing

すべての人々の幸せと、より良い社会のために。
私たちは、笑顔と活力あふれる「確かな明日」へ、イノベーションを起こし続けます。

損保ジャパンは SOMPO グループの一員です。
損害保険ジャパン株式会社
<https://www.sompo-japan.co.jp/>

